



### 3日目—喜び

ハバクク 3 : 17—19 & イザヤ 12 章

#### 執り成しの祈りのヒント

神の命じられることはすべて、神ご自身が実現なさることを覚えましょう。

ほかの約束についても同じように祈り求めましょう。

- 喜びを義の実として与えてくださった神を賛美しましょう。  
「神に従う人は待ち望んで喜びを得る」(箴言 10 : 28)
  
- 主のご臨在と主への服従の内に喜びを与えてくださる神を賛美しましょう。  
「命の道を教えてください。わたしは御顔を仰いで満ち足り、喜び祝い／右の御手から永遠の喜びをいただきます」(詩編 16 : 11)
  
- キリストの力が宿ることにより、弱い時にも喜べることを神に感謝しましょう。  
「すると主は、『わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ』と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう」(Ⅱコリント 12 : 9)
  
- 神があなたの心に喜びを与えてくださるように祈りましょう。  
「希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるように」(ローマ 15 : 13)  
「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです」(Ⅰテサロニケ 5 : 16—18)
  
- 神が与えられる喜びを必要としている人のために祈りましょう。  
「主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい」(フィリピ 4 : 4)  
「悲しんではならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である」(ネヘミヤ 8 : 10b)

- 試練の中にあっても喜ぶことを教えていただけるように祈りましょう。もし、これは試練なのではないかと感じる状況について思いあたる場合は、それを主のみ座の前に携えて行きましょう。

「むしろ、キリストの苦しみにあずかれればあずかるほど喜びなさい。それは、キリストの栄光が現れるときにも、喜びに満ちあふれるためです」(Iペトロ4:13)

「泣きながら夜を過ごす人にも／喜びの歌と共に朝を迎えさせてくださる」

(詩編30:6b [口語訳30:5])

- 迫害されている人たちのために、その人たちの心に喜びが与えられるように祈りましょう。  
「種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は／束ねた穂を背負い／喜びの歌をうたいながら帰ってくる」(詩編126:6)

「あなたを避けどころとする者は皆、喜び祝い／とこしえに喜び歌います。御名を愛する者はあなたに守られ／あなたによって喜び誇ります。主よ、あなたは従う人を祝福し／御旨のままに、盾となってお守りくださいます」(詩編5:12-13 [口語訳5:11-12])

「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい」(ローマ12:12)

- 教会の青年が、キリストに従うことに喜びを見出すことができるよう祈りましょう。青年一人ひとりの名前を挙げて祈りましょう。

「聖なる御名を誇りとせよ。主を求める人よ、心に喜びを抱き」(詩編105:3)

「あなたを尋ね求める人が／あなたによって喜び祝い、楽しみ／御救いを愛する人が／神をあがめよといつも歌いますように」(詩編70:5 [口語訳70:4])

- 預言の霊の書物を、現代に生きるわたしたちへの勧告として受け入れることによって、心から湧きあがるような喜びを体験することができるよう祈りましょう。教会の指導者や教会員が、普段から証しの文を読むことができるよう祈りましょう。

「この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜も口ずさみ、そこに書かれていることをすべて忠実に守りなさい。そうすれば、あなたは、その行く先々で栄え、成功する」

(ヨシュア1:8)

- この地球が、文字通り6日間の内に、主の言葉によって創造されたという聖書的な教理への関心が高まるように祈りましょう。

「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。昔の人たちは、この信仰のゆえに神に認められました。信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉によって創造され、従って見えるものは、目に見えているものからできたのではないことが分かります」(ヘブライ11:1-3)

➤ 都市伝道のために

中央ヨーロッパ支部と、その宣教対象都市のために祈りましょう。

ジュネーブ（スイス）、プラハ（チェコ共和国）、ウィーン（オーストリア）

中東・北アフリカ支部の働きと、今後4～5年の間に宣教の働きが計画されている43の都市を覚えて祈りましょう。それらの都市で働く教会員及び教会の指導者のために祈りましょう。

「心の中でキリストを主とあがめなさい。あなたがたの抱いている希望について説明を要求する人には、いつでも弁明できるように備えていなさい」（Iペトロ3：15）

➤ 個人的な必要など、心のうちにあることについて祈りましょう。

「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる」（マタイ6：33）

➤ あなたの祈りに対する答えをすでにお持ちである神を賛美しましょう。

「彼らが呼びかけるより先に、わたしは答え／まだ語りかけている間に、聞き届ける」

（イザヤ65：24）

祈りの時間の終わりに、祈りのリストにある7人のために、2～3人のグループで祈りましょう。彼らが、心のうちに神にある喜びを受け入れることができるよう祈りましょう。彼らのために、詩編40編17節（口語訳40篇16節）を心に留めましょう。「あなたを尋ね求める人が／あなたによって喜び祝い、楽しみ／御救いを愛する人が／主をあがめよといつも歌いますように」。もし、大人数で共有することがためられる祈りの課題があれば、パートナーにそれを打ち明け、祈り合いましょう。

**讃美歌** 「ああうれし我が身も」（希望の讃美歌214番）

「くしき主のひかり」（希望の讃美歌286番）

## 喜びに関するエレン・G・ホワイトの言葉

「霊の結ぶ実は…喜び…です」(ガラテヤ5：22)

「キリストにつながる人は幸せで、活力に溢れ、喜びに満ちています。冷静な優しさが声に表れており、霊的関心あるいは永遠に対する関心が行動に表され、そして喜びに満ちた音楽が唇から溢れ出しています。なぜならそれは神のみ座から流れ出るものだからです」

(*Testimonies for the Church*, vol. 4, p. 625)

「キリストの喜びは純粹で、活力に満ちています。それは虚しい言葉や軽率な行動につながる外見だけの華やかさではありません。わたしたちは主の喜びを自分のものとすべきであり、主はわたしたちが真理に歩むことをお喜びになります。……主に向かって、こう言いましょう。『わたしのすべてをおささげします。わたし自身をあなたに明け渡します』と。そして、喜んでいましょう。み言葉はあなたの内にあり、あなたの品性は洗い清められるのです。主は、ご自分の子らが心配や悲しみのある表情のまま出て行くのを望んでおられません。主は、主の清いご品性にあずかるすべての者の表情が、ご自身の愛に満ちた優しいものとなることを願っておられます。わたしたちは、この世の退廃から逃れる力をいただいているからです。……キリストの死のゆえに、わたしたちは孤児として見捨てられることはありません。……わたしたちは勝利に勝利を重ね、地球上で最も幸福な表情を持つ者となることができます」(*Our High Calling*, p. 148)

「わたしたちは喜びに満たされずにいることができるでしょうか——満たされるということは、欠けたところが何もないということでしょうか。わたしたちには、イエスが救い主であるという確証があり、主がわたしたちのために備えてくださっている豊かさにあずかることができます。わたしたちは主を信じており、主の約束通り、わたしたちが正しく生きるために恵みと力を与えてくださることを知っています。主は、ご自身が約束なさった通りにすべてを成しとげてくださいという確証を与えてくださいました。主の臨在の喜びを常に求めることは、わたしたちの特権です。主は、わたしたちが生き活きと、主のみ名をたたえる気持ちに満たされることを望んでおられます。また、わたしたちの心が喜びに満たされ、わたしたちの表情に明かりが灯っていることをお望みになります。わたしたちは、この世がもたらすどんな愉しみにも遥かにまさる希望を持っています。だからこそ、わたしたちは喜ばずにはいられないのです」(*Signs of the Times*, Aug. 11, 1909, par.4)

「信仰者に与えられる主にある喜びを経験することができるよう教えましょう。霊的な喜びは、生きた信仰の証しです。神の民は、聖霊に満たされ、確固たる信仰を持つべきです。その時、主は彼らによって栄光をお受けになるのです」(*Bible Training School*, April 1, 1905, par.2 )

「わたしたちに真の幸福をもたらすものは、わたしたちの周囲にあるものではなく内にあるものであり、わたしたちが所有するものではなく、わたしたちがどういう存在であるかということにかかっています。わたしたちの心の祭壇に火が点けられると、わたしたちはすべてのものを、希望の光に照らして見ることができるようになり、キリストの平和の内に生きることができるようになります。……わたしたちが主を信頼し、服従して生きるなら、子どもがその親を自然に信頼しているのと同様に、わたしたちも平安——この世が与える平安ではなく、キリストがお与えになる平安——をいただくことができます。……わたしたちがいばらやアザミを取り除いて美しい花を集めるなら、人生はより明るくされるのです」 (*In Heavenly Places*, p. 245)

#### 個人的な考察のための質問：

1. あなたは喜びに満ちたクリスチャンですか。もしそうでないのだとすれば、何があなたから喜びを奪ってしまったのでしょうか。あなたから喜びを奪ったものを主におゆだねするための祈りの時間を過ごしてみてください。喜びが与えられるように、心が喜びで満たされるように、約束に基づいて求めてみましょう。
2. あなたが常に喜びで満たされるための助けとなるものは何であるかを、考えてみましょう。それをあなたの人生において活かすことができるように、主に求めてみましょう。